



横山 雅人
(新風会)



ボルダリング練習場の設置

市民体育館の大規模改修工事に併せ、体育館内にボルダリングの練習場を整備してはどうか。

市民体育館大規模改修工事は既に設計が完了し、令和5年度入札予定のため、大規模改修工事に併せてボルダリング練習場を設置することは難しい。大規模改修工事後に、市民体育館の屋内外への設置の可能性について調査研究していく。

観光道路といえる国道136号沿いの除草

国道136号沿いの雑草を民間団体と協働で環境美化としての除草をしてはどうか。

県管理道路の清掃美化を目的としたボランティア活動団体を支援する、しずおかアダプト・ロード・プログラム制度がある。この制度を活用して頂き、清掃活動の際には、協働作業における市の役割として、清掃後のごみ収集や処分を担う。



他の質問事項
樹木等の越境と廃棄物等のごみの野焼き問題



古長谷 稔
(改革みしま)



自助と共助、防災力強化に向けた取り組み

市内町内会の自主防災組織が進める、自助・共助を強化する取り組みや訓練内容等を各防災組織間で情報共有できないか。

市ホームページでは自主防災活動好事例集や重量物除去訓練の動画など、自主防災訓練の参考となる事例等を公開している。さらなる取り組みとして、各自主防災組織が実施する訓練一覧のホームページへの公開や、自主防災組織事務説明会での配布を検討する。



誰一人取り残さない、重層的支援体制の整備

市民の困りごとの把握を民生委員や町内会長に頼りすぎないように、重層的支援体制の整備を求めているが、今後の取り組みを伺う。

体制整備には、地域住民や支援関係機関等との間で、意見交換や対話を繰り返し、目的意識を共有するプロセスが重要であるため、十分な準備期間を取り、丁寧に合意形成を図ることが必要と考えている。引き続き、重層的支援体制の構築に向け調査研究をしていく。



服部 正平
(日本共産党議員団)



市管理の河川の水質保全に向けた取り組み

柳郷地川の水質※BODは非常に高い。その水が稲倒れに関係していると思われる現象が起きている。水質調査・汚染の要因把握を求める。

柳郷地川の水質調査は毎月実施している。BOD上昇の要因を特定することは困難だが、柳郷地川は畜産排水が流入する河川であり、BODの値は排水の水質に大きく左右されるため、要因の可能性があると推測できる。



※BODとは…水の汚れを微生物が分解するときを使う酸素量のこと。水が汚れているほど高数値となる。

市内各所の用水路・側溝の安全対策

用水路に人が転落したとの一報を受けた。全国各地で多発している状況もある。事故防止に向け、ガイドラインを策定してはどうか。

水稲が盛んな自治体では、用水路への転落事故が多発していることからガイドラインを策定している。三島市においては、危険箇所に対し速やかな対応をすることで事故を未然に防いでいることから、現時点ではガイドラインの策定は考えていない。



河野 月江
(日本共産党議員団)



市内小中学校体育館へのエアコン設置

異常な暑さから子どもたちの命と健康を守るため、国の補助金を活用し、可能な体育館から設置を進めることを求めるが、見解を伺う。

体育館へのエアコン設置には、効率的に快適な空間を確保し、また国の交付金の要件としても断熱性能を高める工事が必須であるため、教室等と比べると多額の費用が想定される。引き続き、断熱性能の確保やエアコン設置の手法について調査研究していく。



現行の市街地再開発事業の経済効率性

総事業費261億円の本事業だが、費用便益比(便益/費用)が1.0を維持できる事業費と、それに対応する市の補助金はいくらなのか。

再開発事業単独で費用便益比が1.0となる事業費は214億円程度と見込まれる。補助金額を明確に示すことは難しいが、参考として、令和5年度国庫補助金要望時の事業費と補助金額の割合から算出すると、国・県・市の総額で約87億円、うち市負担分は約29億円となる。

他の質問事項
順天堂進出に係る市の医師会への対応の経緯



岡田 美喜子
(新未来21)



高齢者が住み慣れた地で暮らし続けるために

介護サービスを受けるための申請から認定までに時間を要し、同居家族から不安の声がある。同居介護のケアラー支援策を伺う。

介護者手当支給、介護者はり灸マッサージ治療費の一部助成、紙おむつ給付などの事業、認知症の方の家族会開催やケアラー手帳配付を行っている。また、介護支援専門員の資質向上のための研修委託や、各地域包括支援センターが後方支援として共に関わり、相談に応じている。

児童・生徒が安心して登下校するための安全策

市内で通学途中の児童2人が立て続けに車に衝突される事故が発生した。道幅も狭く車の通行量が多い道路であるが、安全策を伺う。

実施可能な安全対策を関係各課で検討した結果、シャリエ上岩崎公園方面から西に向かう直線区間に、沿道への出入りに配慮したうえで歩行者保護のためのポストコーン2本の設置と「歩行者注意」の路面標示を行うよう、現在手続きを進めているところである。



鈴木 文子
(公明)



不登校等児童・生徒の支援

不登校等児童・生徒に、オンラインを活用した学びの場と居場所を提供する、インターネット上のメタバース教室の開設について伺う。

多様な学びの場と居場所の確保として、ふれあい教室と校内支援室の整備に努めている。メタバース教室の開設については、費用面や運用面等において課題があると感じており、今後も情報収集を重ねるとともに、国や県の動向に注視していく。

「こども誰でも通園制度」システム導入

本格導入への課題を踏まえつつも、今後の実施にあたり、こども家庭庁が構築する予約システムを本市も導入すべきと考えるがどうか。

保育士不足の問題から制度導入の時期は明言ができない状況であるものの、仮に受け皿となる施設が市内に確保できていない状況であっても、他市町の施設への通園も想定され、対象者の認定などの事務が発生することとなり、制度利用するこのシステムの導入が必要となる。



他の質問事項
乳幼児1か月健診と5歳児健診の拡充